

成田市駅前番所開所式

安全・安心な駅西口に

JR成田駅西口付近の安全・安心を望む声に応え4月1日、市営交番「成田市駅前番所(愛称えきばん)」が開設されました。同番所には、警察官OBの「えきばん員」が配置され、毎日午後6時から午前0時まで立番と巡回を2人体制で実施。駅利用者の安全確保と犯罪の未然防止に努めます。



関係者とともにパトロールに当たるえきばん員



開所を祝いテープカット

中郷村道路元標

区長会が赤荻保育園に移設保存

中郷地区区長会の手により、旧中郷村の道路元標が赤荻保育園に移設されました。この道路元標は当初赤荻に設けられたものが、昭和12年に新妻に移設され、その後、道路拡幅工事などにより新妻地先に保存されていたものです。区長会では、貴重な歴史遺産の周知を図るため、3月28日、当初の場所に近い赤荻保育園内に道路元標を移設し、説明板を併設しました。道路元標は、大正8(1918)年制定の道路法により定められた各町村の道路の起点を示す石製の標識で、主要道路の交差点などに設置されました。市内には成田町道路元標など12カ所に設置され、いまま当時の面影を残して街角にひっそりと立っています。現在、市内の道路元標のうち旧公津・久住・高岡村の3基が所在不明となっています。どなたかご存じの人がいましたら生涯学習課文化振興室(☎20-1534)へ情報をお寄せください。



中郷村道路元標(左)と説明板(表面に道路元標の、裏面に中郷村の誕生の説明あり)

— そのほかの道路元標 —



八生村



成田町



薬師堂前にある成田町道路元標



滑河町



小御門村



豊住村



遠山村



大須賀村



本大須賀村
(昭栄村の旧名)

北須賀方面への 要所を結ぶ

平成19年10月から実証運転が行われていたコミュニティバス「北須賀ルート」の運行開始セレモニーが3月26日、市役所内ロータリーで開催されました。宗吾霊堂の八重桜をモチーフにしたシンボルマークをあしらった車両は、車椅子対応のステップリフトを搭載するなどのバリアフリー仕様。市役所から宗吾霊堂、印東体育館などを結ぶ貴重な交通手段として、活躍が期待されています。



市内交通網の一層の充実を目指して



車体の前後には八重桜が



「ともだち100人できるかな」(4月9日・吾妻小学校)

市内の小中学校で入学式

胸いっぱい夢ふくらませ

市内の公立小中学校41校で4月7日から9日にかけて、平成20年度入学式が行われました。新入生は小学校1,130人、中学校991人、合わせて2,121人(4月1日現在)。8日は近年には珍しい春の嵐の入学式。カラフルなランドセルや真新しい制服の新入生には、忘れられない1日になったのでは。

貴賓館一般公開

気品漂う館内に 往時をしのぶ

三里塚の歴史にもつとふれてもらいたい。三里塚記念公園内にある貴賓館の館内が4月6日、「三里塚の歴史を伝承する会」の呼び掛けにより一般公開されました。貴賓館は、皇族用の宿舎や各国の要人を招待する場として、御料牧場が栃木県に移転するまでの間使われていた建物。元々は明治政府に請われて牧羊場の責任者を務めていたアメリカ人の宿舎を改装したものでした。木造かやぶきの平屋建てで、外見は和風ですが内部装飾の一部には洋風を取り入れた和洋折衷様式になっています。訪れた大勢の人たちは、明治中期の貴重な建築物を目の当たりにして、感嘆の声を上げていました。



外観はかやぶき屋根の純和風



ギリシャ風のホールで案内役から説明を受ける見学者